



2 学期が始まりました！

始業式では、田尻中学校の皆さんが、無事に夏休みを過ごして元気な姿で集まったことを本当に嬉しく思いました。1学期終業式に夏休み中のマイルーティンを1つ決めて取り組もうと話しました。2学期が始まったら、どんなことができたか自慢話をしに来てくださいとお願いしていました。いつでも楽しみに待っています。天気予報では、



9 月もまだまだ暑いと予想されています。睡眠時間をしっかりとって、朝ご飯をきちんと食べ、毎日元気に登校してほしいと願っています。

2学期は、1年間で最も学校生活が充実するときです。1人1人、具体的な目標を持って、その目標達成に向けて、頑張ってください。

平和への願いをこめて！

7月10日に平和学習の一環として町の企画人権課の協力のもと、折り鶴で語り継がれている佐々木禎子さんの甥にあたる佐々木祐滋さんにご来校いただき、歌と講演を披露していただきました。当日は、1945 年当時に原爆症と闘い、原爆投下から 9 年後に亡くなるまで禎子さんがどのように生きたのか。折り鶴にどのような思いを込められていたのか。感謝の気持ちをどれほど強く持ち続けておられたか。現代まで世界にどう伝わり、どんな活動が行われているかなどについて語っていただきました。

また、8月6日の登校日には、3年生が1、2年生に向けて修学旅行で感じたこと・学んだことを語り継ぐ集会が行われました。ここでも本校が大切にしている班活動が活きています。それぞれの班で自分たちの伝えたいことを、1人1人が自分の言葉で素直に伝えようとする姿がたくさん見られました。沖縄で感じたこと、考えたことを後輩

に伝える機会はとても充実していました。アウトプットする力は、これからの社会で最も重要視される能力の一つです。想いを自分の言葉に乗せて届けることは、時に恥ずかしく、勇気を必要とします。それらを乗り越える今回の経験が3年生にとって有意義であったと確信できる幸せな時間になりました。3年生の皆さん、本当にありがとうございました！



クラブもがんばっています！

夏休み中も運動部・文化部ともに精力的に活動してくれました。運動部は最後の大会に賭けている者、勝ち進んで次の大きな大会をめざした者、文化部は日々の活動を通して思いを後輩へ繋ぐ者など、それぞれのアオハルがたくさん感じられました。3年生の多くが夏を最後に引退しました。私自身、中学校ではサッカー部に所属し、最後は府大会で引退しました。最後になった試合は今でも覚えています。勝利をめざしてともに練習に取り組んだ仲間は、今でもたまにフットサルをして楽しんでいます。負けてしまった悔しさは簡単に忘れることはできませんが、中学校3年間で培った仲間や、目標達成に向けてがんばれたことは、30年以上経った今でも私を支えてくれます。引退した3年生、おつかれさまでした。引退がまだの3年生、最後までがんばってください。



全国学力学習状況調査の結果が届きました！

令和8年4月23日に実施した「全国学力学習状況調査」の結果が届きました。今年度は、国語・数学・英語の3教科でした。田尻町立中学校の3年生は、3教科とも全国平均を上回る結果となり、日々の学びを活かして本当によく頑張りました。結果だけに囚われて一喜一憂する必要はありません。進路選択に向けて学力とともに、心の準備も整えていけるといいですね。個票もお渡ししていますので、それぞれの現在地を確認し、課題解消することにも生かしてください。

(校長 水上 健生)

今後の予定

9/2(水)	【3年生】チャレンジテスト(5教科)
9/4(金)	【1年生】モアレ検査
9/7(月)	5限後下校
9/9(水)	教職員対象公開授業(5限目)
9/17(木)	5限後下校
9/18(金)	【1年生】思春期ふれあい講座(56限)
9/24(木)	中間テスト 1週間前
9/25(金)	【3年生】英語検定 受検
10/1(木)	中間テスト(～10/2(金))
10/16(金)	作品展示(午前) 合唱コンクール(5・6限)
10/21(水)	5限後下校
10/23(金)	午前中授業(職員研修の為 午後は下校となります)
10/26(月)	【3年生】第2回学力診断テスト
10/27(火)	午前中授業(職員研修の為 午後は下校となります)
10/30(金)	【2年生】校外学習
11/13(金)	体育大会
11/17(火)	【3年生】進路懇談会(～20(金))
11/25(水)	期末テスト(～27(金))

防災について考える

9月1日は「防災の日」です。今回は防災について考えます。

防災の日の由来には2つの事が関係します。1つめは、今から103年前の1923年に「関東大震災が起こった日」に当たります。始業式を終えて帰宅したお昼時を襲った地震は、ちょうど昼食準備のため各家庭でかまどや七輪で火を使用していた頃。あっという間に各地で火災が発生し、炎はやがて竜巻となって逃げる人々を巻き上げ、多くの避難者が集う空き地を襲い、10万人以上の犠牲者を出す結果となりました。

2つめは、9/1が立春(2月4日)から数えて210日目にあたり、「昔から台風などの風水害が起きやすい時期」とされてきた事です。1959年(昭和34)9月下旬に発生した「伊勢湾台風」は、これまででの台風被害で最も多い犠牲者が出ており、これをきっかけに1960年、政府の閣議決定により「防災の日」が定められました。

日本は、地震が多く発生する「環太平洋変動帯」の一部にあり、日本列島には多くの大地の割れ目「断層」があり、日本のいつ、どこで起きてもおかしくはない状態にあります。

熊本地震(2016・2026)や能登半島地震(2024)では無数の断層や隆起が確認されています。火山の噴火を含め、歴史上の記録でも多くの被害に見舞われおり、南海トラフ地震は飛鳥時代から90~150年おきに発生しています。最近の発生は1944~46年(昭和19~21)の間にかけて2回発生しています。

さらに、ここ数年は地球温暖化の進行に伴い気温・海水温の上昇によって局地的な集中豪雨が発生し、台風の規模も増えています。



そのたびに深刻な自然災害が頻発しています。古くから住む方からは、「今まで生きてきた中で初めてだ」という声をよく耳にします。この流れは今後も拡大していくと専門家は予測しています。

今日考えたいのは、私たちの「心の在り方」と「備える行動」です。

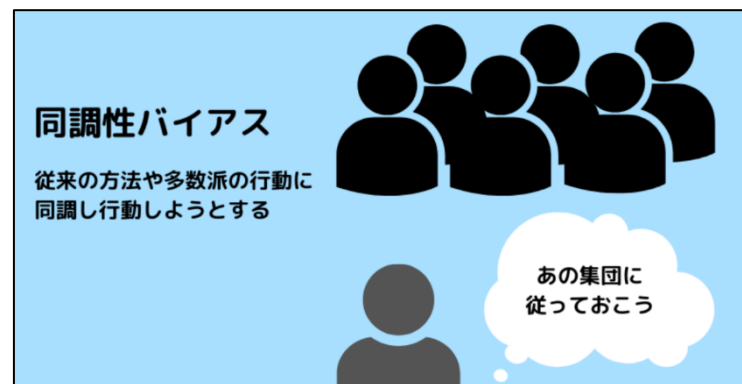
ニュースで災害の発生を取り上げるのはもはや「当たり前」になりつつあります。しかし、私たちはこのような状況になっても「自分事として捉えにくい傾向」があることを知っておくべきだと思います。

人間には、情報を解釈したり、判断したりする際に特定の偏りが起きるそうです。これを「バイアス(Bias)」といいます。これは人間が持つ無意識的な思考パターンや先入観によって引き起こされることが多いのです。

「レベル4〇〇危険警報」は、避難を促すレベルの警報です。災害の危機が迫っているにもかかわらず、「自分たちはまだ大丈夫なはず…」といった気持ちになりやすい傾向があります。これは、「正常性バイアス」が作動している為です。自分の心を安定させるために都合の悪い情報を無視したり過小評価したりする状態です。



また、一人が「大丈夫だ」といえば、周囲にも同じ影響を及ぼします。「皆もそう言っているから大丈夫だと思う」となります。これは「同調性バイアス」によるものです。自分の考えよりも集団の意見・行動に自分を合わせることで自分を安心させているのです。



この2つのバイアスは、防災・減災上、最大の壁です。人間にはこのバイアスが確実に存在する事をあらかじめ知っておき、この状態を克服しなければなりません。逆に、効果的にバイアスを活用すれば、一人でも「危険だ、避難しよう!」と、勇気をもって発言することで、周囲も促され、良い方向へ動き出すことができるのです。



そのために、私たちは、どうすべきか…。私なりに2つ例をあげましょう。

以下のリンクは学校HP➡配布文書➡中学校➡R8学校通信9月号から閲覧できます。

① 被災時をバーチャル体験する

本、ネットを活用し、家族や仲間と一度じっくり考える

[防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう!」](#) | [気象庁 緊急地震速報が流れたら あなたならどうしますか?](#) | [政府広報オンライン](#)
[災害に備える/田尻町ホームページ](#)

② ホームセンターに行く

「防災グッズコーナー」に非常時の必需品が並んでいます。「これがあるといいな!」が実感できます。トイレは必ず準備しましょう。

農林水産省食品ストックガイド [guidebook-3.pdf](#)

首相官邸「災害時のチェックリスト」 [000182715.pdf](#)

田尻中作成「防災について考えよう」 [防災動画](#)

非常時を学べば、日常が特別なものになります。私たちの生活は「当たり前」に準備されたものではなく、国内・国外の生産や流通に携わる方の支えによって成り立つ、希少でありがたいものです。ひとたび災害になると簡単に失われる危険もあります。

今も各地の災害に出向き、日常を取り戻す支援が並行して行われています。災害は遠い未来の出来事ではなく身近に迫る「自分事」に他ならないのです。(教頭 横井武志)

(参考) [知ってほしい!避難の妨げになる「正常性バイアス・同調性バイアス」](#) | 赤十字 NEWS オンライン版 | 広報ツール・出版物 | 赤十字について | 日本赤十字社